

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]*

紫茂別雷社秋合

類

海辺帰雁

暮山春雨

社頭夜風

作者

左

御製

前大僧正慈円

従二位行権中納言源胡白通具

大藏卿正四位下藤原胡白有家

正四位下行左近衛権中將藤原胡白定家



二書

左

道具御

到りしもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

右

丹後

今をて候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

二書

左

有表御

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

右

表隆御

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

五書

左

有表御

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

右

秀能

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

六書

左

雅信御

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

右

具親

候るもの御書もあはれ御のころをなすに存せ候る

七青 暮山春雨 一 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

左 御製

云芳野や暮山春雨 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

右 通光卿

あふ坂の松乃暮山春雨 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

八番 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

左 慈母

我袖よぬまて 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

右 俊成卿女

あはれぬ花の葉は 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

九番 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

左 通具卿

花とともなほ 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

右 丹後

いと称ふ物も 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

十番 花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

左 有龍湖片

花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

右 表隆卿

花散在 花散在 花散在 花散在 花散在

十一番

左

芝草牡丹

多叶のむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

右

秀能

春色のむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

十二番

左

雅紋胡弓

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

右

具親

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

十三番

社以後風

左

御製

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

右

通光卿

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

十四番

左

意園

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

右

後成瑞女

おもしろいむらさきとよしの葉の下は色いさひく公の

十六番 通具

右 丹道

十七番 右 有家胡后

左 有家胡后

右 家隆胡后

十七番

左 有家胡后

右 有家胡后

十八番

左 有家胡后

右 具親

有家胡后

七月

藤原朝臣賴範

水

水

藤原朝臣賴範

水

水

藤原朝臣賴範

水

藤原朝臣賴範

水

水

下六書

詩合 建曆三年正月十日

題

作者

藤原朝臣賴範

女房

正位權大納言藤原良平

從三位藤原朝臣賴範

從四位上行播磨守藤原朝臣範基

從四位上行丹後守藤原朝臣範宗

正五位下行左近衛權少將兼近江權公藤原為家

從五位上行侍從藤原朝臣光家

野 岡 浦 橋 河 江